

## 破裂脳動脈瘤の急性期に血管内治療を受けられる皆様へ

当院では、以下の多施設共同研究に参加しておりますので御協力をお願いいたします。  
 情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくはその代理の方にご了承頂けない場合には研究対象と致しませんので、以下の問い合わせ先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究題目名	茨城県における急性期脳主幹動脈閉塞に対する救急診療と施設間連携の実態調査 (I-POWER ELVO)			
倫理審査	承認日	2021年10月12日	受理番号	2021FY66
実施予定期間	2021年4月1日より2026年3月31日まで		予定症例数	4000件
対象患者	上記期間中に、急性期脳主幹動脈閉塞と診断された方、または急性期脳主幹動脈閉塞が疑われ救急搬送された方			
対象情報	診断名、年齢、性別、身長、既往歴、画像検査、治療内容、治療経過			
研究の概要	背景	急性期脳主幹動脈閉塞 (emergent large vessel occlusion: ELVO) の病院前予測スケールであるELVO screen (共同偏視、無視、失語の1つ以上があれば陽性) は、ELVOを感度85%、特異度72%、陰性的中率93%で予測すると報告されている。 茨城県では、2021年4月1日より、ELVO screen陽性の場合、発症後24時間以内で60分以内に搬送可能であれば、救急隊が直近の脳梗塞診療施設ではなく、血管内再開通療法施行可能な施設へ直接搬送するように救急搬送システムが変更された。		
	目的	茨城県におけるELVO (疑い例を含む) の救急搬送 (施設間転送を含む)、急性期診療および臨床転帰の実態および問題点を明らかにする。		
	方法	治療方法は治療担当医師が最も適切と判断した方法を選択し、制限は設けない。 対象患者のカルテ情報・資料をElectrical Data Capture (EDC) システムを介して研究事務局 (筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座) に送付され、解析する。研究開始後、3-6カ月毎にデータ収集と固定を行う。本研究に關与する全てのものは個人情報保護のために最大限の努力を払い、EDCシステム入力の際には全てのデータは当該研究参加施設において、連結可能匿名化を行う。解析に使用されたデータは研究終了後も同所に保管する。		
結果の公表	学会や論文などで公表します。			
個人情報の公表	個人情報は匿名化され、結果公表にあたって個人が特定されることはありません。			
研究対象者の費用負担・謝礼	費用負担	通常診療と同様です。	謝礼	ありません。
利益相反	ありません			

問い合わせ 連絡先	土浦協同病院脳神経外科 廣田晋	Tel	029-830-3711
		Fax	029-846-3721
	筑波大学医学医療系 脳卒中予防・治療学講座 松丸祐司 (平日: 9-17時)	Tel	029-853-3220 (脳神経外科)
		Fax	

共同研究施設 (五十音順)		
石岡循環器脳神経外科	総合守谷第一病院	水戸済生会総合病院
茨城県立中央病院	筑波記念病院	水戸ブレインハートセンター
茨城西南医療センター病院	筑波大学附属病院	
牛久愛和総合病院	筑波メディカルセンター病院	
協和中央病院	土浦協同病院	
県南病院	つみ脳神経外科	
国立病院機構 水戸医療センター	東京医科大学茨城医療センター	
小山記念病院	日立総合病院	
JAとりで総合医療センター	ひたちなか総合病院	
聖麗メモリアル病院	水戸協同病院	